

## 地域密着型金融の取組み状況 (19年4月～20年3月)

(金融機関名 館林信用金庫)

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (1) 創業・新事業支援
2. タイトル	目利き力強化と人材育成。 融資審査態勢の強化等。
3. 動機 (経緯)	事業再生と同様に小規模事業者に対して高度な金融手法を活用することが難しく、また、ノウハウもないことから目利き力強化と人材育成を強化し、事業価値の見極める能力を強化した。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 融資審査の向上のため業界団体等の外部研修に参加し、企業の将来性や成長性に着目する「目利き」による判断力を養った。 全国信用金庫協会主催の目利き力養成講座に3名参加。 〃 融資審査講座に1名参加。 群馬県信用金庫協会主催の財務講座に1名参加。 〃 融資審査管理講座に1名参加。</li> <li>・ 群馬県信用保証協会の創業・経営革新関連保証等の推進。</li> </ul>
5. 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一定の審査能力や財務分析力はついたが、さらなる「目利き力」の強化が必要。</li> <li>・ 新規事業・開業資金貸出を平成19年度11先、427,610千円実行。しかし、ほとんどはプロパー資金であった。</li> </ul>
6. 20年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>今後は、中小企業再生支援協議会、群馬県信用保証協会等、他機関との連携を取り中小企業支援を行っていきたい。特に、群馬県信用保証協会との連携、館林市の制度融資(起業家チャレンジ資金等)の推進と融資審査態勢の強化等化したい。</p>
7. 添付資料	
8. 備考	

## 地域密着型金融の取組み状況（19年4月～20年3月）

（金融機関名 館林信用金庫）

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (2) 経営改善支援
2. タイトル	要注意先などを中心に 20 先を抽出し、経営改善指導。
3. 動機（経緯）	経営状況が悪化し企業価値がなくなる前に経営改善を図り、不良債権の新規発生防止、要注意債権等の健全債権化のために、2年前から指導を行っております。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営改善支援により「債務者区分」アップさせることを重要課題とし、支店長は（2,000万円以上）の顧客を月に一回のペースで訪問し、人と人の付き合いを深めながら当金庫のトップ（支店長）と取引先のトップとのコミュニケーションを図る。</li> <li>・ 営業店と融資部で経営改善支援先20先を抽出し、融資部で取組み方針を決めて、営業店において経営相談、経営支援活動を行う。その後、融資部において進捗状況を取りまとめ、各営業店に伝え営業店の指導を行っております。</li> <li>・ 目利き力が向上するように、業界団体の外部研修に参加させ、取引先に対する経営相談や経営改善支援能力のさらなるアップを図る</li> </ul>
5. 成果（効果）	平成19年度経営改善支援先20先の中で、ランクアップした先は1先（要注意先から正常先へ）、ダウンした先はなかったが、低調に終わった。
6. 20年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	現状は、コンサルティング業務、情報提供等の施策がほとんどで、財務内容の健全化等の指導で終わっております。今後は、中小企業再生支援協議会と連携した、再生支援を取組んで生きたいと思っております。
7. 添付資料	
8. 備考	

## 地域密着型金融の取組み状況（19年4月～20年3月）

（金融機関名 館林信用金庫）

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (3) 事業再生
2. タイトル	中小企業再生支援協議会の活用。
3. 動機（経緯）	事業再生への高度な金融手法のノウハウもなく、取引先企業はオーナー企業が多く再生への意識も低いことから、中小企業再生支援協議会の活用を図りたい。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県中小企業再生支援協議会全体会議に出席し情報交換を行う。</li> <li>・要注意先等を中心に20先を抽出し、経営改善指導。</li> <li>・経営改善支援の一環として、支店長は「2,000万円以上」の顧客を月一回のペースで訪問し、支店長と取引先のトップとのコミュニケーションを図り、情報交換をしながら経営者の意識改革をおこなっております。</li> </ul>
5. 成果（効果）	各種ファンドの活用、私的ガイドラインに適用される企業はなかった。また、中小企業再生支援協議会への持込み案件もなかった。
6. 20年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>成果はほとんどなかったが、資産の健全化、債務の圧縮に成功した企業も何社かあり、当金庫の経営相談、コンサルティング機能が少しは貢献したと思われる。</p> <p>今後は、中小企業再生支援協議会と連携し再生計画の策定に積極的に取組んでいきたいと思っております。</p>
7. 添付資料	
8. 備考	

## 地域密着型金融の取組み状況（19年4月～20年3月）

（金融機関名 館林信用金庫）

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (4) 事業承継
2. タイトル	コンサルティング機能、情報提供機能の活用。
3. 動機（経緯）	経営者の高齢化問題、商店街の後継者問題は大きな問題となっている。
4. 取組み内容	後継者問題等については、認識しておりましたが、具体的な取組みは行っておりませんでした。今後は、事業承継支援については、信金キャピタルと協定書の締結により、地域・業種・規模等の情報収集により、取引先への情報提供を検討しております。
5. 成果（効果）	なし。
6. 20年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	後継者問題等については、認識しておりましたが、具体的な取組みは行っておりませんでした。今後は、事業承継支援については、信金キャピタルと協定書の締結により、地域・業種・規模等の情報収集により、取引先への情報提供を検討しております。
7. 添付資料	
8. 備考	

## 地域密着型金融の取組み状況 (19年4月～20年3月)

(金融機関名 館林信用金庫)

1. 項目	2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底。 (1) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み
2. タイトル	目利き力強化と人材育成と「流動資産担保融資保証 (ABL保証)」の活用。
3. 動機 (経緯)	取引先の事業価値を見極める融資を行うために、目利き力強化と人材育成を行った。 平成19年8月6日、売掛債権担保融資保証から「流動資産担保融資保証」として制度拡充され引き続き活用を図りたい。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 融資審査の向上のため業界団体等の外部研修に参加し、企業の将来性や成長性に着目する「目利き」による判断力を養った。</li> <li>・ 流動資産担保融資保証 (ABL保証) の推進。</li> </ul>
5. 成果 (効果)	新規事業・開業資金貸出を平成19年度11先、427,610千円実行。
6. 20年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	今後は、ABL保証を積極的に推進。また、目利き力を強化し事業価値を見極め、不動産担保・保証人に過度に依存しない融資が行えるように人材育成に努力していきたい。
7. 添付資料	
8. 備考	



## 地域密着型金融の取組み状況 (20年4月～21年3月)

(金融機関名 館林信用金庫)

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化。 (1) 創業・新事業支援。
2. タイトル	目利き力強化と人材育成。 融資審査態勢の強化。
3. 動機(経緯)	事業再生と同様に小規模事業者に対しての高度な金融手法を活用することが難しく、また、ノウハウもないことから職員の目利き力強化と人材育成を強化し、事業価値の見極める能力を強化した。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・融資審査の向上のため業界団体等の外部研修に参加し、企業の将来性や成長性に着目する「目利き」による判断力を養った。 全国信用金庫協会主催のリスク管理講座に1名参加。</li> <li style="padding-left: 40px;">〃 支店長講座に1名参加。</li> <li>群馬県信用金庫協会主催の目利き力養成講座に2名参加。</li> <li style="padding-left: 40px;">〃 窓口法務講座に2名参加。</li> <li style="padding-left: 40px;">〃 融資渉外力強化研修講座に1名参加。</li> <li style="padding-left: 40px;">〃 融資審査・管理講座に1名参加。</li> <li>・群馬県信用保証協会の創業・経営革新関連保証等の推進。</li> <li>・営業店融資担当者、渉外係の融資審査能力アップを目的とする融資部審査トレーニーを実施している。</li> </ul>
5. 成果(効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「目利き研修」等を実施することにより、企業の販売力、技術力、経営者の資質等を評価できる人材育成は少しずつ図られているものと思われま。</li> <li>・平成20年度中 創業・新事業支援融資実績は、起業家チャレンジ資金(群馬県)3件、35,800千円の実行。プロパー資金4件、136,000千円の実行。計7件、171,800千円の実行。</li> </ul>
6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>新規事業の将来性を見極める審査能力は身につけてきておりますが、創業支援・新事業支援に対する成果はあまりあがっておりません。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>館林商工会議所と連携を強化し、館林地域ベンチャー支援センター、地域力連携拠点等を活用し、創業者が抱える様々な課題に対し親身になってきめ細かな相談・助言・情報・創業資金の提供を行い、創業者を支援していきたい。そして、地域の活性化に少しでも貢献したいと考えております。</p>
7. 添付資料	
8. 備考	

## 地域密着型金融の取組み状況 (20年4月～21年3月)

(金融機関名 館林信用金庫)

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化。 (2) 経営改善支援。
2. タイトル	取引先企業のニーズの把握。 要注意先などを中心に 20 先を抽出し経営改善指導。
3. 動機(経緯)	経営状況が悪化し企業価値がなくなる前に経営改善を図り、不良債権の新規発生防止、要注意債権等の健全債権化のために、3年前から指導を行っております。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中小・零細企業を中心とした地元業者が地域金融機関に期待する役割として、大きなものとして資金繰り支援(条件変更等の弾力的対応含む)があります。タイムリーに対応できるよう地域金融の円滑化の期待に積極的に取り組んでおります。一方貸出金の原資はお客様の大切な預金であり、回収に不安視されるような状況では対応できません。その為に、今後も資金ニーズに迅速に対応できるよう、主要先、問題先については決算書・自己査定資料等をベースに普段から情報収集に努め、各営業店の支店長と経営者とのコミュニケーションを通して、金融面での何事も第一に相談され、頼りにされる金融機関になれるよう努力しております。</li> <li>・ 中小・零細企業に対して円滑な資金供給を確保していくためには、金庫自身が安定した収益を計上し財務の健全性を維持していくことが前提としてあり、中小・零細企業への金融支援と与信関連費用に注視していく必要があります。経営改善支援策として、営業店と融資部で経営改善支援先 20 先を抽出し、財務改善のアドバイスや経費削減等の指導を行なっております。</li> <li>・ 目利き力が向上するように、業界団体の外部研修に参加させ、取引先に対する経営相談や経営改善支援能力のさらなるアップを図る。</li> <li>・ 全国緊急保証の活用。</li> </ul>
5. 成果(効果)	平成 20 年度経営改善支援先 20 先の中で、ランクアップした先はゼロ、ランクダウンした先、5 先となりました。また、平成 18 年度から平成 20 年度においてランクアップした先は 7 先、ランクダウンした先は 9 先となっており成果はあがっているとはいえない状態です。 全国緊急保証については、平成 21 年 3 月現在実行ベースで 144 件、1,531 百万円。

<p>6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題</p>	<p><b>【評価】</b>  現状は、ほとんど財務内容の健全化等の指導で終わっており、一步踏み出して経営全体のニーズに対応できていない状態です。</p> <p><b>【今後の課題】</b>  一步踏み出した経営改善支援を行うには、スキル・ノウハウが十分にあるとは言い難いのが現状です。今後は、国、商工会議所、地方自治体の公的機関の有効活用と更なる人材育成を行い経営改善支援に努力したい。</p> <p>金融検査マニュアル別冊などの改定に伴い、中小・零細企業に対しての経営改善支援（資金繰り支援）のため徹底した実態把握と経営者との共通認識を深め、財務改善のアドバイス・経営改善計画書・資金繰り表等の策定等に親身になって協力し、計画が実行できるようにサポートしていきたい。</p>
<p>7. 添付資料</p>	
<p>8. 備考</p>	

## 地域密着型金融の取組み状況（20年4月～21年3月）

（金融機関名 館林信用金庫）

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化。 (3) 事業再生支援。
2. タイトル	中小企業再生支援協議会の活用。
3. 動機（経緯）	事業再生への高度な金融手法のノウハウもなく、取引先企業はオーナー企業が多く再生への意識も低いことから、外部から経営者の意識改革を促すためにも、中小企業再生支援協議会の活用を図りたい。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県中小企業再生支援協議会全体会議に出席し情報交換を行う。</li> <li>・要注意先等を中心に20先を抽出し、経営改善指導。</li> <li>・経営改善支援の一環としても、主要先、問題先については決算書・自己査定資料等をベースに普段から情報収集に努め、各営業店の支店長と経営者とのコミュニケーションを通して、金融面での何事も第一に相談され、頼りにされる金融機関になれるよう努力しております。</li> <li>・目利き力が向上するように、業界団体の外部研修に参加させ、取引先に対する経営相談や経営改善支援能力のさらなるアップを図る。</li> </ul>
5. 成果（効果）	平成20年度経営改善支援先20先の中で、ランクアップした先はなく、ランクダウンした先、5先となりました。また、平成18年度から平成20年度においてランクアップした先は7先、ランクダウンした先は9先となっており成果はあがっているとはいえない状態です。 中小企業再生支援協議会へ持ち込んだ案件はありませんでした。
6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>中小企業再生支援協議会に持ち込んだ案件もなく、経営改善支援結果もランクダウンが目立ち効果はなかった。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>債務者の協力（意識改革）を求めながら、商工会議所、地公体、中小企業再生支援協議会の有効利用を図り、事業再生支援に取り組んでいきたい。</p>
7. 添付資料	
8. 備考	

## 地域密着型金融の取組み状況（20年4月～21年3月）

（金融機関名 館林信用金庫）

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化。 (4) 事業承継支援。
2. タイトル	コンサルティング機能、情報提供機能の活用。
3. 動機（経緯）	経営者の高齢化問題、商店街の後継者問題は大きな問題となっている。
4. 取組み内容	後継者問題等については、認識しておりましたが、具体的な取組みは行っておりませんでした。
5. 成果（効果）	なし。
6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】 後継者問題等については、認識しておりましたが、具体的な取組みは行っておりませんでした。</p> <p>【今後の課題】 相続対策の相談に留まらず、株式買取りに関する資金面の支援や、M&amp;Aの幅広い対応が求められてくると思われまます。商工会議所、中小企業再生支援協議会等地域情報のネットワークを活用し、法務、財務、税務等の外部専門家とも連携し、積極的に関わって行きたいと思ひます。</p>
7. 添付資料	
8. 備考	

## 地域密着型金融の取組み状況（20年4月～21年3月）

（金融機関名 館林信用金庫）

1. 項目	2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底。 （1）不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み。
2. タイトル	目利き力強化と人材育成と「流動資産担保融資保証（ABL保証）」の活用。
3. 動機（経緯）	取引先の事業価値を見極める融資を行うために、目利き力強化と人材育成を行った。 平成19年8月6日、売掛債権担保融資保証から「流動資産担保融資保証」として制度拡充され引き続き活用を図りたい。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・融資審査の向上のため業界団体等の外部研修に参加し、企業の将来性や成長性に着目する「目利き」による判断力を養った。</li> <li>・（ABL保証）の推進。</li> <li>・中小・零細企業の定量的な財務内容の健全化。</li> <li>・シンジケートローンの活用。</li> </ul>
5. 成果（効果）	<p>一定の審査能力や財務分析力はついたが、さらなる「目利き力」の強化が必要と思われる。また、ABL等の活用は今年度もありませんでした。</p> <p>中小・零細企業では、定量的な財務内容の健全化が大切であり、経営改善支援先20先を中心に財務内容の質の向上を目指したが、残念ながら効果はなかった。</p>
6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p><b>【評価】</b></p> <p>動産・債権譲渡担保融資、ABL（群馬県信用保証付）の活用を推進したが、風評リスクの恐れからか中小・零細企業者からは受け入れられないようである。経営改善支援先を中心に財務内容の健全化を指導したが、今期は、今の地域経済を反映してか、経営改善支援先以外も含めて全体的に財務内容は悪化している。シンジケートローンについては、（独）農業者年金基金100百万円、（独）鉄道建設運輸施設整備支援機構200百万円実行しました。</p> <p><b>【今後の課題】</b></p> <p>取引先に中小・零細企業が多いことから、与信関連費用に注視しながら日常的なコミュニケーションを通して情報収集を行い、群馬県信用保証協会、商工会議所、商工会等各方面と連携して円滑な資金供給をしていくことが今後も重要である。</p>
7. 添付資料	
8. 備考	

## 地域密着型金融の取組み状況 (20年4月～21年3月)

(金融機関名 館林信用金庫)

1. 項目	2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底。 (2)「目利き機能」の発揮に向けた取組み。
2. タイトル	目利き力強化と人材育成
3. 動機(経緯)	取引先の事業価値を見極める融資を行うために、目利き力強化と人材育成を行った。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・融資審査の向上のため業界団体等の外部研修に参加し、企業の将来性や成長性に着目する「目利き」による判断力を養った。</li> <li>全国信用金庫協会主催のリスク管理講座に1名参加。</li> <li style="padding-left: 2em;">// 支店長講座に1名参加。</li> <li>群馬県信用金庫協会主催の目利き力養成講座に2名参加。</li> <li style="padding-left: 2em;">// 窓口法務講座に2名参加。</li> <li style="padding-left: 2em;">// 融資渉外力強化研修講座に1名参加。</li> <li style="padding-left: 2em;">// 融資審査・管理講座に1名参加。</li> <li>・群馬県信用保証協会の創業・経営革新関連保証等の推進。</li> <li>・営業店融資担当者、渉外係の融資審査能力アップを目的とする融資部審査トレーニー実施。</li> </ul>
5. 成果(効果)	一定の審査能力や財務分析力はついたが、さらなる「目利き力」の強化が必要。
6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>ブランド力、組織力に欠ける中小・零細企業が多く、そこから将来性、事業価値を見抜くには色々な分野の知識が必要であり、目利き機能の向上を図ってはおりますが、現状では、さらなる「目利き力」の強化が必要と思われます。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>取引先に中小・零細企業が多いことから、与信関連費用に注視しながら日常的なコミュニケーションを通して情報収集を行い、群馬県信用保証協会、商工会議所、商工会等各方面と連携して円滑な資金供給をしていくことが今後も重要である。</p>
7. 添付資料	
8. 備考	

## 地域密着型金融の取組み状況 (20年4月～21年3月)

(金融機関名 館林信用金庫)

1. 項目	3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 (1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み
2. タイトル	プレミアム付消費券の取扱支援
3. 動機(経緯)	市内商店街の売上増加の呼び水効果、地域住民へのサービス向上等により、市全体の経済活性化を促す目的で、平成15年12月に11,000千円(10,000千円+プレミアム1,000千円:市300千円、会議所700千円+諸経費負担)、参加商店約250店舗でスタートし、以降、毎年12月に取扱い、当金庫は消費券の受入及び換金業務を担っています。
4. 取組み内容	<p>平成20年度 プレミアム付消費券事業概要</p> <p>発行団体 館林商工会議所(協力:館林市、館林商店街連合会、館林信用金庫)</p> <p>加入資格 館林商工会議所会員事業所</p> <p>加盟登録料 一般店舗 2,500円 197店舗 大型店舗 10,000円 10店舗 計207店舗</p> <p>発行総額 22,000千円(20,000千円+プレミアム2,000千円~市1,000千円、会議所1,000千円+諸経費負担)</p> <p>発行券 10千円で1セット(500円券×22枚) 500円×12枚=6,000円…一般商店専用券 500円×10枚=5,000円…大型店、一般店併用券</p> <p>取扱期間 平成20年12月1日~平成21年4月30日</p> <p>消費券の受入及び換金業務 館林信用金庫本支店</p> <p>受入及び換金期限 平成21年5月15日</p>
5. 成果(効果)	発行総額22,000千円のうち19,057千円を受付処理済です。したがって2,943千円が未処理の状況(平成21年4月末)となっています。

<p>6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題</p>	<p><b>【評価】</b>  平成15年12月に取扱(11,000千円、約250店舗)後、ここ数年は、ややマンネリ化し参加商店街も漸減していました。そこで昨年12月には販売額を22,000千円に倍増させ、募集したところ、所得環境の厳しい中、プレミアムへの期待感から消費券は即日完売となり、地域住民より好評を得ています。</p> <p><b>【今後の課題】</b>  消費券の受入及び換金業務は、市内金融機関では当金庫のみの取扱(市指定金融機関の延長線上での取扱支援)で、事務負担の大きい問題があります。</p> <p>昨年12月から今年4月まで取扱を行い、漸く事務から開放されると思ったところ、今年度は国から定額給付金が4月以降、順次支給されることから、今年度分を5月末に前倒し、金額も33,000千円(30,000千円+プレミアム3,000千円~市2,000千円、会議所1,000千円+諸経費負担)にして取扱予定です。</p> <p>当金庫では、今年度は特に昨年12月以降ほぼ1年を通して、消費券の取扱をしている状況で、地元商店街の活性化とはいえ、若干疲弊気味であります。</p> <p>しかし、会議所、市サイドでも財源の厳しい中、大幅な改善は困難な状況です。今後は、手数料の徴収、取扱金融機関の拡大、消費券受入を当金庫から会議所に変更し販売代金を振込みにする等、課題があり、地元金融機関・市指定金融機関としての使命と地元商店街の活性化、事務負担の割り振り等について協議を行っていく必要があります。</p>
<p>7. 添付資料</p>	
<p>8. 備考</p>	

## 地域密着型金融の取組み状況（20年4月～21年3月）

（金融機関名 館林信用金庫）

1. 項目	3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 (2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供
2. タイトル	所得税還付申告会の実施
3. 動機（経緯）	平成7年12月当時、関東信越税理士会群馬県支部連合会より当金庫において、住宅取得等特別控除の説明会開催要請を受け、顧客サービスの一環として平成8年2月より毎年2月に館林文化会館にて開催しています。
4. 取組み内容	<p>関東信越税理士会群馬県支部連合会より派遣された税理士立会いのもと、金庫側から5名（本部2名、営業店3名）参加し、顧客の所得税還付手続きの指導を行っています。また、開催に先立ち、当金庫職員は館林税務署署員より確定申告書の作成要領、当該年度の税務上の改善点等について説明を受け、開催に望んでいます。</p> <p>来店者とは、個別指導により住宅取得特別控除申告書を作成後、申告書の中身を税理士が確認し、税理士が署名・押印したものを当金庫で取り纏めて、館林税務署へ提出しています。</p> <p>来店者は、ここ数年、毎年15人内外（案内状発送者、約30名）となっています。</p>
5. 成果（効果）	関東信越税理士会群馬県支部連合会より派遣された税理士への報酬、会場使用料等、約42千円を当金庫で負担していますが、参加者及び税務署からは好評を得ています。
6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>発足当時は、新規の住宅取得者が多く、所得税還付対象者も40名以上いました。しかし、ここ数年は、住宅ローンの借換対象者も多く、還付の新規対象者が減少し、来店者も15名内外となっていますが、参加者からは好評を得ています。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>今後、参加者の増加が見込めなければ、金庫側の参加人員を減らしたり、何らかの対応を考えたいと思います。</p>
7. 添付資料	
8. 備考	